

令和3年4月16日

令和3年度 三原市一校一貢献事業実施計画書

三原市立南小学校
校長 岡田 恵子



- 1 「三原市一校一貢献事業」をどのように教育課程に位置づけ、何を目指すのか。

南小学校では、年間を通して5年生「やっさ踊り」、6年生「器楽合奏」を教育内容として総合的な学習の時間や特別活動に位置づけ、17年以上に渡って取組を継続してきた。特に、6年生の器楽合奏は、小学校段階ではめずらしい金管楽器を取り入れた合奏であり、学習発表会や市民音楽祭等での演奏を通して、その成果を広く発表している。

また、器楽合奏の取組をさらに充実させるために設立した、4・5・6年生が所属する「吹奏楽クラブ」は今年度で8年目を迎えた。毎年30名程度の部員が入部し、年々レベルを上げてきている。校内行事での演奏だけでなく、市内のイベントや地域の商業施設でも演奏し、地域の活性化に貢献している。

- 2 「三原市一校一貢献事業」を実施して期待される効果

- 吹奏楽クラブの活動を充実させることで、音楽的技能のレベルを向上させ、6年生の「器楽合奏」の取組に向けた素地をしっかりと養うことができる。
- 吹奏楽クラブが、学校行事だけでなく、地域や市のイベントで演奏を披露することで、地域の活性化に貢献でき、そのことが児童の郷土愛や愛校心や自信を高めることにつながる。
- これらの活動に対して、市民や地域の方々から多くの賞賛と励ましの言葉をいただく機会が生まれ、そのことから児童は、「もっといい演奏を届けたい」という思いをもち、向上心をもって学校生活を送ることができるようになる。

3 実施計画

年間を通して外部講師を招いての練習

8月 市民アマチュア音楽祭での演奏

10月 高等学校吹奏楽部との演奏交流

11月 学習発表会での演奏

12月 第22回みはら市民音楽祭出演（6年生のみ）

2月 地域の商業施設（フジグラン三原店）での演奏会

4 成果指標

児童の愛校心・愛郷心の向上（児童アンケートの実施）

「自分たちの演奏で感謝の気持ちを伝えることができたか」

「南小の伝統を引き継ぐことができたか」各80%以上

5 活動に係る経費

経費項目	金額(円)	積算内訳
ユーフォニアム	242,000	242,000×1
合計	242,000	

(別紙様式2)

平成 年 月 日

平成31年度 三原市一校一貢献事業実施報告書

三原市立
校長

学校
印

1 実施期間 平成 年 月 日から平成 年 月 日

2 取組

(1) 概要

(2) 具体的実践内容

(3) 成果

3 支出済額決算

経費項目	金額	積算内訳
備品購入費		